

令和8年市民の声アンケート（概要）



令和8年市民の声アンケート調査結果(概要)

1 調査概要

第7次総合計画後期基本計画の策定及び各施策・事業の推進の参考とするため、市民の声アンケートを実施し、市民の生活実態や実感、市の取組に対する満足度・重要度を定量的に把握するとともに、過去に実施した調査結果との比較・分析を行った。

	今回調査 (R8)	前回調査 (R4)
調査地域	上越市全域	
調査対象	満18歳以上の3,000人	満18歳以上の5,000人
調査方法	【配布】郵送 【回収】郵送またはWEB回答	郵送による配布・回収
調査期間	令和8年1月7日～21日	令和4年1月14日～5日
回収数	1,524	2,271
有効回答率	50.8%	45.4%

2 調査結果

(1) 生活実態・実感

現在の生活実態・実感（26項目）についてうかがった。

○実感の高い・低い項目（上位3・下位3）

順位	項目	割合（※）
1	自然が豊かである	93.1%
2	治安がよい	90.7%
3	海や山の幸に恵まれ、食や特産物が豊富である	85.8%
⋮		
24	バスや鉄道などの生活基盤が整っている	23.0%
25	市外からの来訪者との交流の機会が多い	12.4%
26	観光PRが盛んで観光客が多い	10.5%

※「そう感じる」、「ある程度感じる」の合計

○前回調査との実感の比較（上位3・下位3）

順位	項目	実感の変化
1	美しい街並みや景観が整っている	+9.3pt
2	買い物が便利である	+1.5pt
3	働く場が整っている	+0.5pt
⋮		
24	集落や町内会などの活動が盛んである	▲7.7pt
25	医療のサービスが整っている	▲8.1pt
26	出産や子育てがしやすい	▲9.5pt

(2) -① 市の取組に対する満足度・重要度（スコア）

- ・ 前回調査との比較をするため、前回調査時の項目を継続しつつ、必要な項目を追加した全64項目についてうかがった。
（「外国人を含めた共生社会の推進」を追加）
- ・ また、満足度と重要度の評価を点数化した「平均スコア」により、各項目について前回調査との比較を行った。

【平均スコアの算出方法】

「満足している・大変重要である」に+2、「やや満足している・ある程度重要である」に+1、「どちらともいえない」に0、「やや不満である・あまり重要ではない」に-1、「不満である・重要ではない」に-2を、それぞれの回答数にかけ合わせ、平均点(平均スコア)を算出。

○満足度の高い・低い項目（上位3・下位3）

順位	項目	平均スコア
1	水道水の供給	0.65
2	生活排水の処理対策	0.61
3	ごみの減量とリサイクル	0.52
⋮		
62	商業の振興	▲0.32
63	上越妙高駅周辺の活性化	▲0.40
64	公共交通の利便性向上	▲0.50

○重要度の高い・低い項目（上位3・下位3）

順位	項目	平均スコア
1	防災対策	1.52
2	雪対策	1.48
3	医療体制の充実	1.42
⋮		
62	市民参画のまちづくり	0.46
63	国際的な文化交流の推進	0.42
64	外国人を含めた共生社会の推進	0.37

○前回調査との満足度の比較（上位3・下位3）

順位	項目	増減
1	障害のある人の自立・社会参加	+0.09
2	直江津港の利用促進	+0.06
3	課題を抱える世帯への支援	+0.06
⋮		
61	防災対策	▲0.14
62	医療体制の確保	▲0.20
63	水道水の供給	▲0.23

○前回調査との重要度の比較（上位3・下位3）

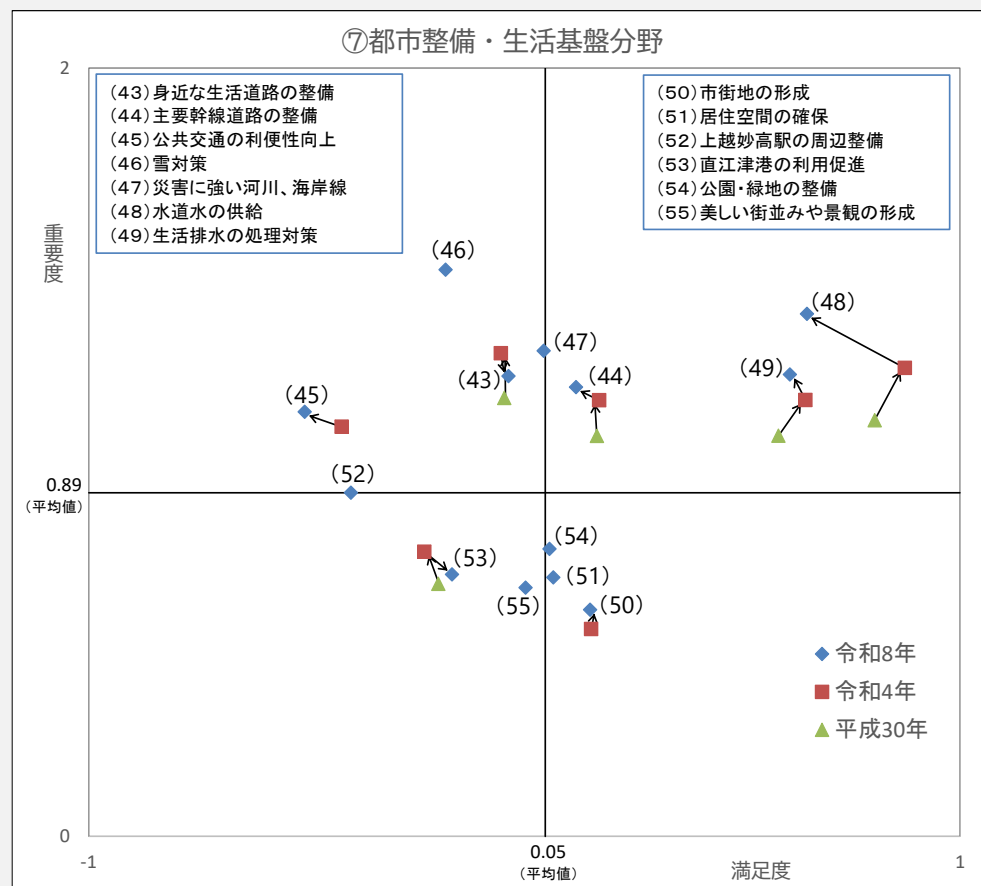
順位	項目	増減
1	水道水の供給	+0.14
2	農業の振興	+0.10
3	農村地域の基盤整備	+0.08
⋮		
61	課題を抱える世帯への支援	▲0.15
62	地球温暖化対策	▲0.20
63	再生可能エネルギー	▲0.37

※前回調査との比較は新設項目を除く63項目

(2) -② 市の取組に対する満足度・重要度（プロット図による分析）

- ・プロット図は、横軸に満足度の平均スコアを、縦軸に重要度の平均スコアをとり、各項目を表している。
- ・図の中心点は、64項目の全体の平均スコア（満足度0.05、重要度0.89）を示している。
- ・過去の調査結果と比較して、満足度と重要度の平均スコアの変化が大きかった項目は変化の様子を示し、要因などの考察を記載している。

【プロット図による分析の例】 ※各分野のプロット図及び変化の要因の考察は、別冊2「令和8年上越市市民の声アンケート報告書」参照



【変化が大きい項目】

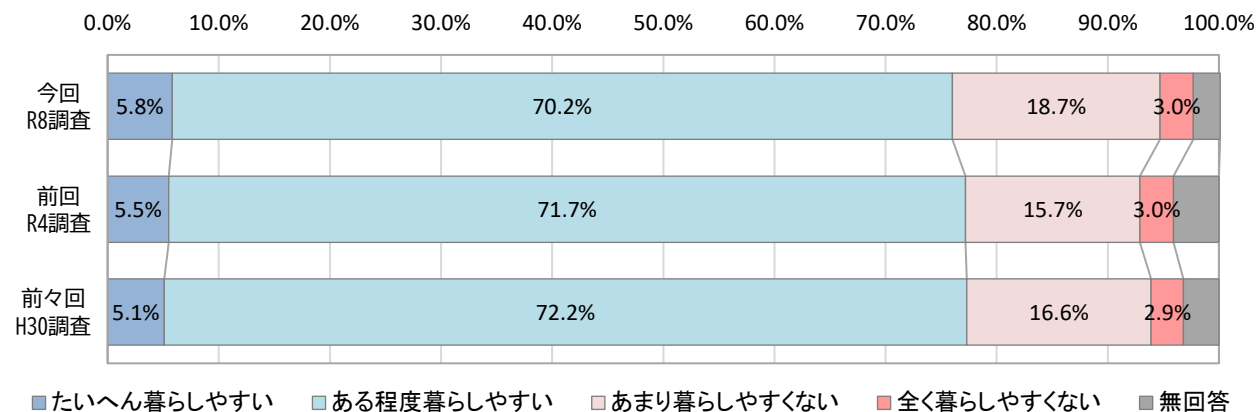
満足度		重要度	
上昇	(53)直江津港の利用促進	上昇	(48)水道水の供給 (49)生活排水の処理対策 (50)市街地の形成
低下	(44)主要幹線道路の整備 (45)公共交通の利便性向上 (48)水道水の供給	低下	(43)身近な生活道路の整備 (53)直江津港の利用促進

【考 察】

- ・多くの項目で前回調査から満足度が低下した。
- ・「(45)公共交通の利便性向上」では、ダイヤ改正やバス路線の再編等による減便、待ち時間の増加等を受け、特に公共交通に頼らざるを得ない年代からの満足度が低下したと考えられる。
- ・「(48)水道水の供給」は、全項目の中でも満足度・重要度ともに高い水準であるが、R7年の記録的な渇水に伴う市民への節水要請や、老朽化した水道管からの漏水事故等の全国的な発生・報道などから、前回調査からの満足度の低下及び重要度の上昇につながったと考えられる。
- ・「(53)直江津港の利用促進」では、R6年の「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録やR7年のクルーズ客船の寄港を契機として市民の関心が高まった中、小木直江津航路の利用促進やポートセールスの取組が一定程度評価されたことにより、満足度が上昇したものと考えられる。

(3) 暮らしやすさ

暮らしやすい（「たいへん暮らしやすい」、「ある程度暮らしやすい」の合計）と感じている市民は76.0%となっており、前回調査から大きな変化は見られなかった。



(4) 居住の意向

「住み続けたい」と感じている市民は36.4%、「どちらかといえば住み続けたい」と感じている市民との合計は69.3%となっており、前回調査からやや低下した。

